

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

【事業所概要（事業所記入）】			
事業所番号	2271100841		
法人名	企業組合 つどい		
事業所名	グループホーム つどい		
所在地	静岡県沼津市東椎路1502-2		
自己評価作成日	平成29年2月26日	評価結果市町村受理日	平成29年3月21日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2016_001_kani=true&JigyosyoCd
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A
訪問調査日	平成29年3月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

スーパーや薬局、病院等が近くにある利便性の高さと静謐な環境を両立。600坪の広い敷地の中で伸び伸びと穏やかな生活ができる環境にあります。食材や植木など四季折々の変化を楽しめる努力も怠りません。医療連携が十分に稼働する中、30数例の看取りも経験しております。最後まで心穏やかに過ごしていただける施設でありたいと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

玄関からチューリップ、水仙などが出迎え、リビングでは大きな1枚板の丸テーブルの中央にこでまり、金魚草、つりがね草、カーネーション、桃、コメ桜とパステルカラーが目にも優しい花々が鎮座し、そこかしこに生花で彩られた空間が広がっています。それをさらに惹き立てるように、代表者の細かな指導を以て、5S大賞を贈呈したいほど清潔が徹底され、品格ある環境が造られています。炊き込みご飯と汁物に惣菜3品、デザート2品と、目に舌に楽しめる献立は職員が買い物と調理を責任もっておこない、食レクと位置付けてよいと感じるほど「楽しみ」のある内容で、利用者の表情には「大切にされている」毎日の充足感が滲んでいます。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。]

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	全職員が理解し共有できていると思う。	突き詰めて考えると難しい理念ですが、「ひとつの家族として～」「地域住民として～」との言葉通り、薬局へ行った帰り道に夕飯の献立のプラスαを買いに寄ったり、パン屋さんで選んだり、日常的に実践しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣に飲食店や商業施設に恵まれ、散歩を兼ね日常的に利用しております。	自治会費は利用者1名ずつ納めており、一人ひとりが地域住民との認識をもってもらえ、防災訓練でも点呼になれば「そこから支援が始まる」との言葉もでています。また地続きの空き地ではフリーマーケットの開催も予定されています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	気軽に相談できる環境作り、又、外に向けての情報発信に努める。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	グループホームを理解して頂き、共に支え合える関係の構築に努める。	地域包括支援センターから「年間計画で～」と助言もあり、昨年課題だった定期開催は叶っています。メンバーの苦言も受けとめ、「地域に開かれた事業所になれたらありがたい」との姿勢が議事録からも伝わります。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	皆に親しまれるグループホームであるよう風通しを良くする努力を惜しまない。	運営推進会議には市役所、地域包括支援センター職員が足を運んでくださり、事業所でも出席に関わらず議事録を毎回届けています。集団指導をはじめ行政主宰の集まりには必ず出席し、介護相談員の訪問も月1回あります。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入居者の尊厳を守る事は余力ある人員や介護力も重要と考える。	開設1年は落ち着かず外部研修に職員を出せませんでしたが、今年からは少しずつ始め本件に係る研修も参加しています。安全優先で4点柵を導入している利用者については家族の了解も得て、一時性、代替性、切迫性の書面もとり、定期的に省みて是正する機会をもっています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	くり返し、話し、学ぶ事により職員の意識を高めるよう努める。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	共に学び、常日頃話す機会を持ち理解に努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者・ご家族様に安心して頂けるよう、誠意を持ってわかり易く説明する努力をしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が見えた時は、必ず何か気になる事はないか管理者が声かけをしています。	代表者が常時居るため家族面会のほとんどに立ち合っており、また「月の支払いは事業所に持参する」とこととしているため、全家族と月1回以上会話をもっています。行事写真を撮り溜めていて、家族に見せることを慣行しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送りや担当者会議など活発な意見交換があります。 押しつけではない現状を心掛けてます。	「職員の得意なところを伸ばそう」「好きなことをやらせてもらう」との考えから、園芸の花が育ち、壁画の作品が見事に仕上がっています。グループホーム部会でヒントを得て、「拘束排除」「感染」「災害」など、係の発足も協議中です。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	小さな職場の特性を生かし即断即決、正しく見る、聞く話す。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各人に合わせた指導。 特性を生かす。 研修に参加。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	貢献できることは何か。 お返しの人生としての役割。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	家族からの聞き取りが主となるが、ご本人様の気持ちも重視し、早期に居心地良く安心できるような場所作りを心掛けてます。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	十分に傾聴し、方向性を示している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	優先順位を決め、今できることからするよう努める。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	皆家族としてとらえ、生活を共にしているという関係を築いています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	私たちにできない唯一のことは家族とのかかわりと考えます。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が今まで関わった方達が来設したり居心地の良い環境作りを心掛けてます。	家族と初詣にと出たり、故人を偲ぶ会へと息子が送迎したり、友人の訪問等以前との関係が続くよう家族と力を併せて支援しています。季節に応じた行事食にも力を入れており、ちらし寿司を菱餅の形にするといった工夫も見られます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	丸テーブルは私達のこだわりのひとつです。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族から近況報告を頂いたり、頂き物があつたり、お返しをしたりしています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	困難な場面も多いですが、その日の表情から多くをくみ取るよう努めています。	代表者が考える「会話をもつことで～」が職員に浸透しており、ガストやコンビニエンスストア、ホームセンターの地域資源を活用して、本人が食べたいもの、やりたいことを実現させています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からの情報や書面を参考にしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	規則正しい生活の中で、個々の特性を活かした過ごし方に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	個人の担当者、職員全員の意見、夜勤者等、担当者会議で話し合いプランに反映しています。	「現場にでていない」介護支援専門員ですが、書面は状況が具現されていて、職員の観察と進言が豊かであることが覗えます。ほかにも「カンファレンスに2度欠席は認めない」との方針で、職員意見を集約を確かにしています。	「事業所がおこなうことへの信頼を厚くする」ためにも、サービス担当者会議を家族を交えて運営できると、なお良いと思います。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	情報の共有(引き継ぎノート等)やプランの改善は月1度の担当者会議を利用している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	小さな施設の特性を活かし、きめ細やかなサービスに常に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	入居者のニーズに合わせた個別の対応に努めています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族及び本人の意見を尊重しながら当方の専属医との連携に努めています。	「どちらでもいいですよ」と説明していますが、全員が月2回訪問診療のある協力医に変更しており、専門医への受診となれば職員が付添っています。2回の内1回は医師に訪問看護と調剤薬局が同行して連携が保たれる体制にあります。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	往診記録、訪問看護記録はわかりやすく記入し、共有しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の利用者への係り、退院時の受け入れ体制など、密に話し合われています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ターミナルケアは40例以上は経験しています。医療関係も十分稼働しています。	契約時に説明とともに重度化及び看取りの書面を家族と交わしています。創業以来40近くの看取りを見つめてきて「生きることを勉強させてもらった」と言う代表者の下、職員にも「怖さ」「嫌さ」はなく、本年も4名をつつがなく見送っています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に勉強会を行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地元の方に協力頂ける関係作りや、自分達で守る体制作りを心掛けています。	目の前には広い空地があり、平屋であることから火災については条件的に好環境にあります。年2回の法定訓練を丁寧に取組んでいます。大規模災害では「野菜や水(湧水)もある(＝応援するよ)」との声が自治会長から届いています。	七夕豪雨があった地域とのことですので、水害対策マニュアルについて「地域性を考えた」精査が、所内及び運営推進会議であることを期待します。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉の持つ力、こわさも又、自覚していきたいと思います。 とても大切な事と考えています。	接遇マナーの5原則を内部研修で昨年5月におこなっています。家族や本人の希望を優先して「～ちゃん」づけもありますが、利用者の身だしなみのレベルは高く、大半の職員が言い方を心得ていることを視認しました。	職員に因っては「～ちゃん」の印象がよくない場面もあり、感じがよい人、よくない人の違いについて一度職員間で省みると、なおよいと思います。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	1日の流れは決まっていますが、自由に過ごす時間はそれぞれの好みで過ごせるよう支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	安全な暮らしの中で、安心して過ごして頂けるよう努力しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個性を大切に配色、素材に細かく配慮しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	基本、食事作りは職員が行っています。 皮むき等、危険でない事は手伝っていただいています。	炊き込みご飯と汁物に惣菜3品、デザート2品と、目に舌に楽しめる献立は、職員が買い物と調理を責任もっておこなっています。主婦としての実績と職業人としての自負に裏打ちされ、見守りも確かです。	飲み込みなどが心配なことはわかりますが、逐一声をかけられると気になる人もいないか、一度省みて食事中での関わり方を検証することを期待します。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量や食事摂取量は記録しています。 食事に問題のある方は医師に相談したり、経腸栄養剤等で対応もしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご自身で歯磨きのできる方は後で職員がもう1度清潔にし、できない方には職員が対応しています。 汚れは当然ですが、口臭にも十分気をつけています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレ内での排泄に心掛け、各人に合わせた指導が来ている。 パット類は常に適した物を使用出来るように話し合いを行っています。	パットの大きさを小さくしたり、リハパンから布パンへと少しでも向上できるようにと、声掛けや誘導による取組みがあり、成果につながった例もあります。便秘には薬を使わず「旬のものを食べる」が徹底され、センナ茶を常飲しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックノートにより管理できています。 申し送りでは必ず職員に周知するように行っています。 自然の排便を心掛ける。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週2回、午後の入浴を行う。 全身観察はゆったりとした時間の流れる中しっかりと出ています。 「気持ち良い、幸せ」との言葉が嬉しい介助です。	脱衣エリアにあるタオルの角が揃っていて、全てのモノが収まるべき場所に在り、気持ちよく入浴できる環境が整っています。変わり湯もありますが、普段は「ゆず」の浴剤を使用しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	良眠出来るよう年齢やお一人お一人の状態に応じた1日の過ごし方、細かな援助に努めています。 清潔な寝具を常に心掛けております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	申し送りノートを最大限活用し、職員全員が理解徹底できるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	過去の一人一人の生活歴が生かせるよう支援しています。 新しい事へのチャレンジも刺激になって良いですね。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は戸外でお茶を飲んだり、コンビニや近所のパン屋さんへ出向くなど個別の援助ができています。	日常的な散歩は本人の状態と天候によって実施しています。職員とコメダ珈琲で談笑したり、ホームセンターで買い物でたらB級グルメを愉しんだり、ネオパーサにしろす井を食べにと、小さな外出を細目におこなっています。	外気浴用にベンチが置かれるとなおよいと思います。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	身近なコンビニでの利用は日常的に行われています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	頂く事が多い。 皆で話す話題作りにもなっています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	デイルームからの景観、常に明るく清潔な空間、室温や換気など十分に配慮された日常。	玄関からチューリップ、水仙などが出迎え、リビングでは大きな1枚板の丸テーブルの中央にこでまり、金魚草、つりがね草、カーネーション、桃、コメ桜とパステルカラーが目にも優しい花々が鎮座し、そこかしこが花で彩られた空間です。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共同生活としての過ごし方、メリハリのある1日であるよう心掛けています。 各人に合った時間の過ごし方を心掛ける。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人の使い慣れた物は自宅より持参して頂き、清潔な使いやすい居室作りを心掛けています。	職員の気配りと手入れで行き届いていることはひと目でわかる清潔さです。チェストやぬいぐるみなど、小ぶりなものが持ち込まれてはいますが「就寝だけの部屋」といった印象は否めず、実際リビングに集まって過ごしています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各人の出来る力を生かした、寄り添うケアを大事にしています。		